



Kato Tutoring School

きびしく教え、あたたかく育む



NEWS LETTER

秋期集中特訓

9/20(日)・9/21(月)



パーフェクトゼミ
9月 スタート

9/21(月)～9/25(金)

全塾休み

表紙・目次・お知らせ	P1	生き物の死にざま・ゾウ	P7
引落とし明細・検定試験日程	P2	「世界四大文明」日本だけ？	P8
カレンダー・パーフェクトゼミ	P3	漢検合格者・日本の盛衰①	P9
秋期集中特訓	P4	算数五輪・9月生まれの著名人	P10
大学入試新システム？	P5	算数五輪解答・日本の盛衰②	P11
数検合格者	P6	9月生まれの生徒諸君・金木犀	P12

～塾からのお知らせ～

1. 9/28(月)・中学3年生の引落しについて

〈税込〉

中3は10月分月謝と合わせて以下の費用を引落しさせていただきます。
所定口座へのご準備のほどよろしくお願いいたします。

パーフェクトゼミ受講料	下表参照
後期教材費	8,150円
秋期集中特訓受講料	両日参加: 15,400円
	1日のみ参加: 11,000円

〈税込〉

パーフェクトゼミ受講料			
後期のみ受講		前期・後期ともに受講	
3回分割 [9月～11月]	一括 [9/28引落し]	6回分割 [9月～2月]	一括 [9/28引落し]
41,580円 [13,860円×3回]	37,800円	58,410円 [9,735円×6回]	53,100円

※分割の引落しについて…引落しは毎月27日または翌営業日です。

2. 9/21(月)～9/25(金)は全塾お休みです。 ※9/21、秋期集中特訓はあり

3.

検定試験	漢検	締切: 10/1 (木)	実施: 10/31 (土)
	数検	締切: 10/20 (火)	実施: 11/21 (土)
	英検	締切: 9/10 (木)	実施: 10/3 (土)

※中3でまだ3級を取得していない人は必ず受験してください。加藤学習塾の各教室で受験できます。

4. 塾カレンダー 〈8月～9月〉

8/17	月	8/16より通常スケ開始	9/1	火		9/16	水	
8/18	火		9/2	水		9/17	木	
8/19	水		9/3	木		9/18	金	
8/20	木		9/4	金		9/19	土	
8/21	金		9/5	土		9/20	日	秋期集中特訓①
8/22	土		9/6	日	休み	9/21	月	秋期集中特訓②
8/23	日	休み	9/7	月		9/22	火	全塾休み
8/24	月		9/8	火		9/23	水	
8/25	火		9/9	水		9/24	木	
8/26	水		9/10	木		9/25	金	
8/27	木	引落日	9/11	金		9/26	土	
8/28	金	8月通常授業スケ終了	9/12	土		9/27	日	休み
8/29	土	ここから本来の時間割	9/13	日	休み	9/28	月	引落日
8/30	日	休み	9/14	月		9/29	火	休み
8/31	月		9/15	火		9/30	水	

《入試必勝パーフェクトゼミ》 — 9月から開始 —

週末を活用した模擬テスト形式の教材を使った高校入試対策ゼミ。前期は基本事項の総括的な確認。後期は実戦的な演習。詳細はリーフレットをご覧ください。

時間割		
文系の日	理系の日	時間
英語	数学	9:00～10:15
国語	理科	10:20～11:35
昼休み		11:35～12:15
社会	数学	12:15～13:30

前期日程 〈全8回〉	後期日程 〈全9回〉
文系日・理系日は交互	文系日・理系日は交互
9月初旬～12月中旬 の土曜日	1月中旬～3月初旬 の土曜日
※学校行事等で土曜日が無理な場合は、翌日の日曜日に振り替えます。	

〈中3対象〉

秋期集中特訓

9/20(日)・9/21(月)

時間割			
時間	時限	第一教室	第二教室
10:00～11:00	1時限	国語	英語
11:10～12:10	2時限	数学	国語
12:10～13:00	昼食休憩		
13:00～14:00	3時限	英語	数学
14:10～15:10	4時限	理科	社会
15:20～16:20	5時限	社会	理科
16:30～18:10	6時限	確認テスト 〈20分×5教科〉	
18:10～18:30	休憩		
18:30～20:00	7時限	個別指導 〈テスト直し他〉	

〈講習開催場所〉	
①山陽教室	②福浜教室
山陽教室・ 和気教室・ 竜操教室の 生徒は山陽 教室に集合	福浜教室・ 藤田教室・ 灘崎教室の 生徒は福浜 教室に集合
競い合うチャンス	

〈受講費用〉	
1日のみ参加	両日参加
10,000円	14,000円

〈税抜〉

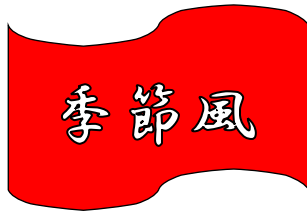
※9/20(日)・9/21(月)の両日とも同じ時間割です。

《経緯》 中学受験生・高校受験生対象の合宿特訓・集中特訓は加藤学習塾の伝統イベントでしたが、ここ数年は諸般の事情から開催できておりませんでした。

しかし今般、コロナによる長期休校の影響で受験生の著しい学力弱화가懸念される中、なんとか中3だけでもいう切迫した思いから「秋期集中特訓」という企図に至った次第でございます。

《ライバル》 他教室の生徒といっしょに勉強することで、普段とは違った緊張感の中で切磋琢磨してもらいたいと思います。

《反復！反復！反復！》 長期休校のため、例年以上に「復習」ということが重い意味を持つ年になりました。特に3月から5月一杯にかけての復習。夏期講習で総括的に復習したことをこの「秋期集中特訓」を通してさらに鮮明にし、より多く、1つでも多く定着させ、揺るぎない入試突破力を築き上げていてもらいたいと願っております。



blowing into Education



大学入試の新システム 運営許可取り消す方向で調整 文科省

〈2020年7月9日 5時42分 教教育ニュース〉

高校生に、学習した内容や部活動の実績を記録してもらい、大学入試で活用する新たなシステムについて、文部科学省は、これを運営する一般社団法人への許可を取り消す方向で調整していることが関係者への取材でわかりました。このシステムは、およそ18万人の生徒が利用していることなどから影響が懸念されます。

文部科学省は、高校生に学習した内容や、部活動の実績、さらに、ボランティアなどの活動を、ポータルサイトに記録してもらい大学入試などに活用する、「JAPAN e-Portfolio」と呼ばれるシステムの開発を進めてきました。

このシステムは、去年から一般社団法人の「教育情報管理機構」に運営が任され、今年度の入試から本格的に導入される予定でしたが、関係者によりますと、入試に利用する大学が少なく、財政上の安定が見込めないことなどから、文部科学省が運営許可を取り消す方向で調整していることがわかりました。

すでに、全国およそ18万人の生徒がこのシステムを利用していることなどから影響が懸念されます。

このシステムをめぐるのは、生徒がポータルサイトを利用する時に、教育産業大手の「ベネッセコーポレーション」のIDを取得する必要があることが明らかになり、萩生田文部科学大臣も、ことし2月、運用の見直しに言及していました。

国が進めてきた大学入試改革は、大きな柱だった英語の民間試験と記述式問題の導入が、すでに見送られるなど、混乱が続いています。

運営許可された事業とは

「JAPAN e-Portfolio」というシステムは、国が大学入試改革の一環として、主導して開発を進めました。

「象の墓場」という伝説がある。

ゾウは死期を感じると、群れを自ら離れ、「象の墓場」と呼ばれる場所へ向かう。そして、たくさんのゾウの骨や牙が散乱する像の墓場に横たわり、静かに死を迎えるというのである。

このようにゾウは、自分の最期を他のゾウたちに決して見せないと言い伝えられてきた。

もっとも、これは実際には誤りである。

ゾウは地上で最大の動物である。ゾウの中でも大型のアフリカゾウは、その大きさは七メートルを超え、体重は六トンを超える。これほど巨体であるにもかかわらず、サバンナではゾウの死体がまったく目撃されなかったことから、このような伝説が生まれたのである。また、象牙を密猟するハンターたちが、大量の象牙を売りさばくために、この伝説を巧みに利用したとも言われている。

ゾウの死体が発見されないのには、理由がある。

ゾウの寿命は七〇年ほど
と言われている。動物の
中では相当な長寿であ
る。そのため、ゾウの死
そのものが珍しい。

さらには、サバンナの
乾いた大地では、多くの
生き物たちが腹をすかせ



生き物の死にざま

稲垣 栄洋

ゾウ

死を悼む動物なのか

ている。ゾウの死体があれば、最初はハイエナたちが、その厚い皮を食い破り、肉を食い漁る。すると、その穴にハゲタカたちが集まり、肉をむさぼり食う。こうして、ゾウの大きな体は、見る見るうちに骨だけになるのである。やがて骨も風化し、すべてが土に還る。そのため、人間がゾウの死体を見ることはなかったのである。

ただ、研究が進んだ現在では、ゾウの死体は観察されている。

ゾウの墓場は単なる伝説だったので。

ゾウの研究が進むにつれて、ゾウは死を認識しているのではないかと考えられるようになった。仲間のゾウの死を悼むようすが見られるというのである。

たとえば、死んだ仲間のゾウの体を起こそうとしたり、食べ物を与えようとしたりするという。また、仲間をとむらうかのように、土や木の葉を死体の上にかいたりする行動が観察されているというのだ。

本当にゾウは死を認識しているのだろうか。

ゾウは頭が良く、共感力の強い動物であると言われている。

ゾウは、メスと子どもたちとで群れを作る。そして、お互いに複雑なコミュニケーションを取りながら、群れの中で助け合って暮らしていることが知られている。ケガをしたり、トラブルにあったゾウには協力して手助けするし、慰め合ったり、ケンカしては仲直りしたりするという。

そのようすは、まるで人間と変わらないように見える。ゾウが頭の良い動物だと言われればそのとおりにも思える。

ゾウに知性はあるのだろうか。ゾウは共感しているのだろうか。それはわからない。

人間だけが特別な感情を持つ動物なのだろうか。



それとも、私たち人間が勝手に擬人化して見れば、感情があるように見えるだけなのだろうか。

「死」についてはどうだろう。

ゾウは本当に「死」を理解しているのだろうか。人間が勝手に「悲しそうにしている」と意味づけをしているだけなのかもしれない。

もしかすると、ただ、動かない仲間の世話をしているだけかもしれないし、動かなくなった仲間が不思議なだけかもしれない。

あるいは、まったく意味のない本能の行動なのかもしれない。

しかし…と私は思う。

それでは、私たち人間は「死」を理解しているのだろうか。

死とは何なのだろうか？

人間は、死んだらどうなるのだろうか？

それは誰にもわからない。「死」は、私たち人間にとってさえも不思議なことなのである。

ゾウは死を悼む動物であると言われている。

もしかしたら、ゾウたちの方が、死ぬことについては、私たち人間よりも知っているのかもしれない。生きることの意味も、より知っているのかもしれない。そして、私たちよりも深く死を悼んでいるのかもしれないのである。

ゾウから見れば、人間も死を悼む生物である。

しかし、「死」を前にすれば、人間でさえ無力である。

万物の霊長を自負し、科学技術万能の時代に生きる私たちにとつても、死を前にできることは限られている。愛すべき人が息もせず、永遠に動かなくなってしまった現実を前にすれば、私たち人間にできることもまた、ただただ悲しむことだけなのである。



世界四大文明

「世界四大文明」、この用語は日本だけのもので、ヨーロッパやアメリカで使われることはない。

そもそも「世界四大文明」という言葉は、二十世紀初頭に清の政治家・梁啓超が日本に亡命中に作ったものである。清が西洋に比べて遅れていることに自信を失っていた梁が、日本人から「中国には偉大な黄河文明があるではないか」と教えられたことで自信を取り戻し、自作の詩の中で使ったものだ。ところが、この言葉が、古代中国に対する憧れが強い日本において逆に定着してしまい、今も教科書などで使われている。

百田尚樹「日本国紀」





算数オリンピック問題

(解答は10ページ)

図のような5×5のマスのがあり、すべてのマス目にコインがおいてある。これを使って2人でゲームを行う。

順番に縦、あるいは横に並んでいる連続したコインを好きな個数だけ取っていく。ひとつ置いたコインを取ったりしてはならない。

最後のコインを取った方が勝ちである。

この時、あなたは先手と後手のどちらを選択すべきか。また、どのような戦略を取れば必勝できるか。

○	○	○	○	○
○	○	○	○	○
○	○	○	○	○
○	○	○	○	○
○	○	○	○	○



獣の呼吸！
必勝、忒ノ牙。
切り裂き！

猪突猛进だぜい！
バーロウ！



9月生まれの著名人

〈菊〉

林修・伊藤博文・ブルックナー

棟方志功・西村京太郎・星新一

長瀬剛・エリザベス1世・松本人志

ドボルザーク・トルストイ

カーネルサンダース・松坂大輔

杉田玄白・矢沢永吉・上戸彩

岩倉具視・アガサクリスティー

竹久夢二・正岡子規・麻生太郎

小田和正・安倍晋三・吉田茂・魯迅

葛飾北斎・浅田真央・羽生善治





算数オリンピック解答

先手を選択すれば必勝である。

まず、中央のコインを取る。その後は、相手が取ったコインと点対称の位置にあるコインを取っていい。

例えば相手が1, 2の2個を取ったら、あなたは23, 24の2個を取る。次に相手が4, 9, 13の3個を取ったら、あなたは12, 16, 21の3個を取る。こうしていけば、先手であるあなたには常に取るコインがあることになり、あなたは最後のコインを取ることができる。

1	2	3	4	5
6	7	8	9	10
11	12	×	13	14
15	16	17	18	19
20	21	22	23	24

根性! 気合!
昭和で一直線!!



さて、この戦略は「対称法」という手法である。この問題の解決法に気づいた人は優秀である。推論問題では、問題パターンを見抜く能力と、既に知っていることを応用する能力が大切なのである。

わが日本の盛衰②

詳しく見ていきましょう。日本は内需依存型の経済構造です。つまり、国内の企業や個人がお金を使うことでGDPをふくらませてきたのです。民間の需要拡大によって、個人や会社の消費によって経済成長してきたわけです。そしてGDPの70%近くをその構造に依存してきたのです。

ところが、2008年をピークに日本の人口は減少に転じました。今年は去年より50万人減りました。50万人というとちょうど宇都宮市や松山市ぐらいの人口です。一年で地方の中核都市がひとつ消滅した感じです。

この勢いは年々大きくなっていき、今後40年で4,000万人程度の減少が予想されています。また、30年後には現在の住宅地の20%が無人口化するといわれています。

衰退

将来の人口動態については低位、高位さまざまな予測がありますが、50～60年後には、日本の人口はおおむね5,000万人減少するだろうと考えられています。単に人口が減るだけではなく、生産年齢人口の割合が小さくなり、超々高齢化社会になります。つまり、税金を納める人が減り、税金で養うべき人が増えるということです。歳入は減り、おそらく、道路や橋のメンテはできなくなり、生活保護などなくなり、年金は雀の涙になるでしょう。風邪をひいて病院に行けば10万円を請求されるかもしれません。

日本は恐ろしい勢いで衰退していきます。バブル崩壊から30年間、結果的に何もできなかったわが日本。現在の子供たちが高齢者になったとき、彼らはどんな扱いを受けるのでしょうか。